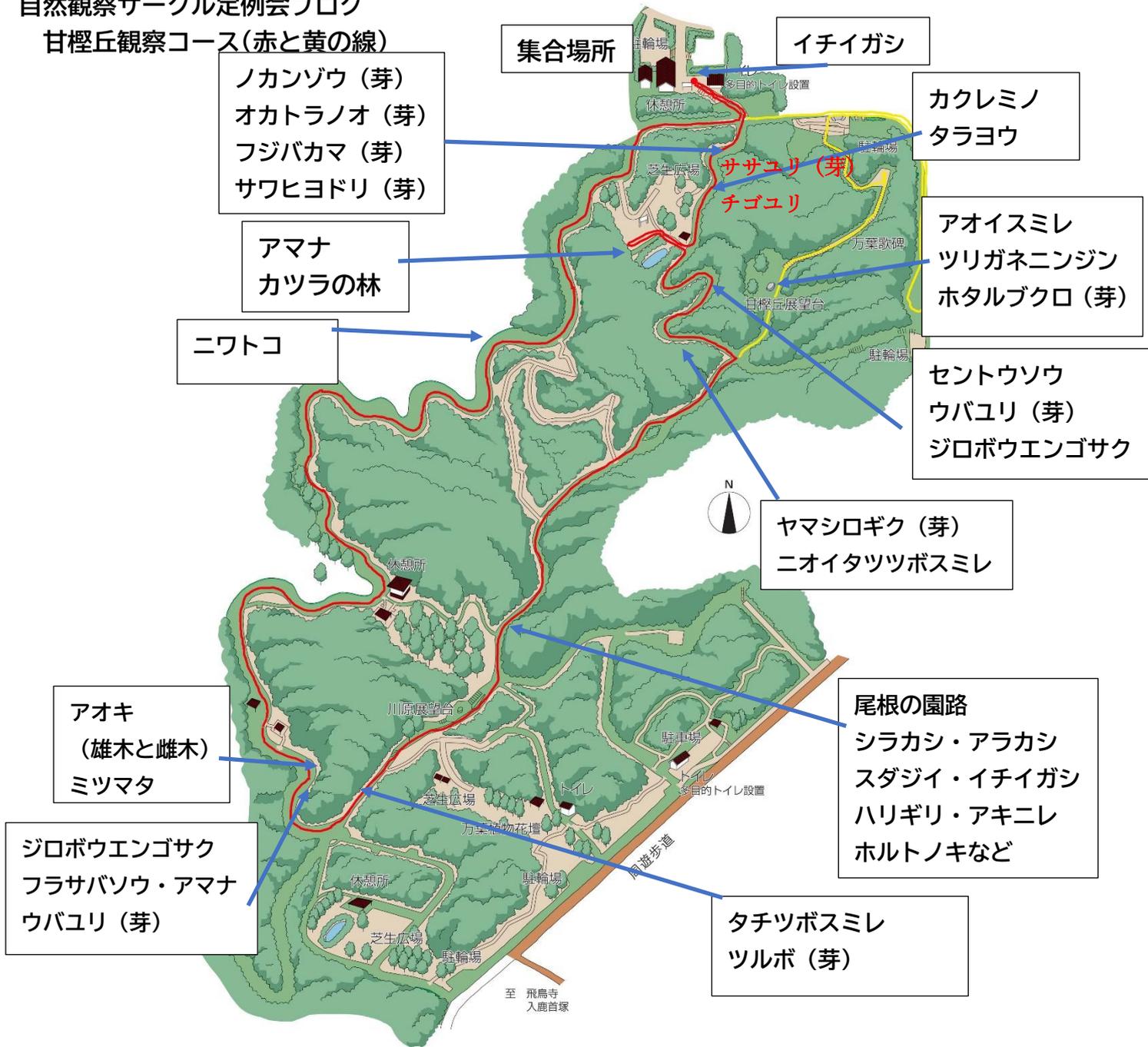


自然観察サークル定例会ブログ

甘樫丘観察コース(赤と黄の線)



3月の定例会は3月9日に甘樫丘での観察会になりました。早春の花が咲くには少し早かったのですが、アマナとアオイスミレ・タチツボスミレは花が咲き始めていて観察することができました。アオモジとニワトコ・ミツマタも花を観察することができました。

コースは甘樫丘の地図のとおりで赤のコースを午前中、黄のコースを午後に回りました。

午前のコースで観察したもの



カクレミノ (ウコギ科)



タラヨウ (モチノキ科)



ノカンゾウ (ユリ科)



ユズリハ (ユズリハ科)



ヒメユズリハ (ユズリハ科)



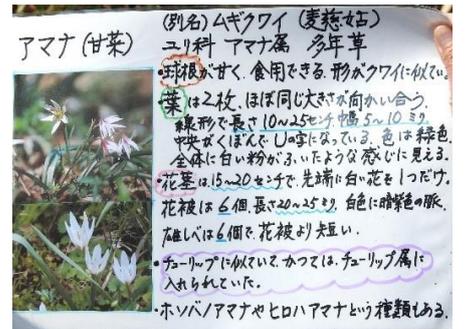
ナワシログミ (グミ科)



モッコク (モッコク科)



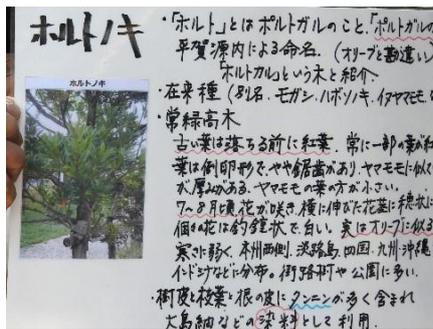
アマナ (単子葉植物ユリ科)



アマナ説明



ホルトノキ (ホルトノキ科)



ホルトノキ説明



アオキ (アオキ科 雌木)



ハコベ (ナデシコ科メシベ3裂)



ウシハコベ (メシベ5裂)



アオキ (雄木)



ミツマタ (ジンチョウゲ科)



ネコヤナギ (ヤナギ科)



ニワトコ (ガマズミ科)



カシワ(ブナ科、葉柄ごく短い)
枯れ葉は新芽が出るまで落ちない。



フラサバソウ(オオバコ科)



オオイヌノフグリ(オオバコ科)

ユズリハとヒメユズリハ

ユズリハは大きく長い葉を枝先でやや垂れて付きます。また葉は枝先に輪生状に集まって互生します。



ユズリハ裏面



裏面拡大

ヒメユズリハは、葉を枝の上部に集まってつけ互生します。

裏面は黄緑色で葉脈の網目模様がはっきり見えます。



ヒメユズリハ裏面



裏面拡大

午後のコースで観察したもの



アオモジ (クスノキ科)



アオイスミレ(スミレ科)



ヤマネコノメソウ(ユキノシタ科)



タマゴケ(コケ タマゴケ科) ノキシノブ(シダ ウラボシ科) マメツタ (シダ ウラボシ科)



マメツタの孢子葉 飛鳥川 ダイサギ(ペリカン目サギ科) スギゴケ(スギゴケの仲間)

午後からは甘樫丘の北側を観察しました。スズシロソウなどの早春の野草はまだでしたが苔が美しくなっていました。タマゴケやスギゴケのなかまが策を伸ばしていました。また、飛鳥川にはダイサギやヒドリガモなどがいました。3月の二十日前後には早春の花たちが咲きそろふことでしょう。楽しみです。